

令和2年度 第3回

「松本市認知症施策推進協議会議事録」

松本市認知症施策推進協議会事務局

令和2年度第3回松本市認知症施策推進協議会

次 第

日時 令和3年2月19日（金）
午後1時30分から
場所 議員協議会室（東庁舎3階）
Zoom 併用

1 開会

2 あいさつ

3 会議事項

(1) 報告事項

ア 令和2年度認知症思いやりサポートチーム（認知症初期集中支援チーム）進捗状況について（資料1）

イ 令和2年度まつもとミーティング（本人ミーティング）開催支援について（資料2）
（資料2-2）（資料2-2）

ウ 令和2年度オレンジ研修会（認知症研修会）、キャラバン・メイト交流会活動報告について（資料3）

エ 第8期介護保険事業計画等（認知症施策）について（資料4）

(2) 協議事項

令和3年度松本市認知症事業計画（案）について（資料5）

4 その他

(1 開会)

事務局 午後1時30分、開会を宣言した。(委員12名のうち9名の出席があり、協議会設置要綱第6条第2項に基づき、会議は成立した)

(2 あいさつ)

会長 皆様のおかげで、松本圏域の新型コロナウイルス感染症のレベルが、長野県全体でレベル1まで落ち着いた。県知事も「第三波はほぼ収束したと言ってもよいのではないか」という状況になっている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、事業がなかなか進まなかった。これからも厳しい状況はあると思う。新型コロナウイルス感染症を防ぎながら、抑えながら認知症施策を進めていかないとと思っている。そういう中で、医療者向けのワクチン接種が始まった。4月からは、高齢者向けのワクチンが始まる。マイナス70度での保存が必要なこともあり、集団接種から始める計画になっている。3月中に市から接種券が配布されるが、いろいろな疑問を持った方がおられると思う。そういう疑問に対して、丁寧に説明していく必要がある。それは、認知症施策を進めていくことにも繋がろうと思う。

(3 会議事項)

事務局 設置要綱第6条第1項に基づき会長が議長となり、挨拶をした。

議長 所要のため途中退席する委員に意見を求めた。

委員 今年度は、認知症でお困りの方が、認知症疾患医療センターへ多く受診されている印象がある。コロナ禍の影響で自宅で過ごす時間が増えたことが影響しているのか、件数が1000件を超えており、多くを受診から治療につなげさせてもらった。今後ともご協力をお願いしたいと思っている。

議長 議長は報告事項の説明を求めた。

事務局 資料1に基づき、令和2年度認知症思いやりサポートチーム(認知症初期集中支援チーム)進捗状況について説明した。

事務局 資料2、資料2-1、資料2-2に基づき、令和2年度まつもとミーティング(本人ミーティング)開催支援について説明した。

事務局 資料3に基づき、令和2年度オレンジ研修会(認知症研修会)、キャラバン・メイト交流会活動報告について説明した。

事務局 資料4に基づき、第8期介護保険事業計画等(認知症施策)について説明した。

(意見・質問)

議長 議長は報告事項について、委員から意見・質問を求めた。

議長 質問・意見がなかったため、議事をすすめた。

(協議事項)

議長 議長は協議事項の説明を求めた。

事務局 資料5に基づき、令和3年度松本市認知症事業計画(案)について説明した。

(意見・質問)

議長 議長は協議事項について、委員から意見・質問を求めた。

委員(議長) 資料5(4)にある「チームオレンジ」とはどういう仕組みなのか、説明いただきたい。

事務局 チームオレンジとは、認知症の方の困りごとやニーズを把握し、認知症サポーターやボランティアにつなげていく仕組みと言われている。松本市では、来年度調整していく予定になっており、令和5年度には3か所程度設置出来たらと考えている。既に、地区の中で自然につながりができている地区や、認知症カフェやひろばへの参加の声掛けをしている地区もある。現状を把握しながら、松本市としてどういうチームオレンジにしていくのかについて、これから調整させていただきたいと考えている。

委員 以前の協議会でも紹介させていただいたが、傾聴ボランティアを施設やご自宅に派遣するお手伝いをしている。新型コロナウイルス感染症の影響でご自宅に上がれない中、今年の夏はボランティアが書いたお手紙をその方のご自宅へお届けする「声のプレゼント」を考えた。しかし、直接会って話したいという意見もあった。暖かくなったら、ご自宅の敷地中の屋外で、会話ができるようなことも考えている。また、コロナ禍で進んでいなかったが、ボランティアグループの中で、認知症の理解・啓発を進めるために人形劇や紙芝居を制作したいというグループもある。そういう取り組みが始まったら、是非一緒にやってきたいと考えている。

委員 前回の会議でも話させていただいた「徘徊高齢者家族支援サービス事業」について、第8期介護保険事業計画等に目標とする数値を入れていただきありがとうございます。一層普及啓発を行っていただいて、GPS検索端末機の貸与サービスを利用してくださる方が増えると良いと思います。

委員 若年性認知症の本人ミーティングは、認知症の家族の会の代表が、既に他市に立ち上げていて、松本から通っていた方もおられたため、「まつもとミー

ティング」が立ち上がったことを何よりも嬉しく思う。私事ですが、友人が立て続けにお風呂場で亡くなった。他人事ではないと思い、特に入浴時は気をつけるようにしている。自宅の前の家の方にも、見守りをお願いするようにした。新型コロナウイルス感染症の影響で、家族の会が開けない時もあったが、私たちではわからない制度利用の相談等があるので、包括の方やケアマネジャーの方に参加してもらえるととてもありがたい。

委員

新型コロナウイルス感染症の関係で、その後参加できなくなってしまったが、本人ミーティングが立ち上がった当初は、私も出席させていただいた。本人ミーティングは人数ではなくて、一人でも二人でも、そういう人たちを支えていくことが大事だということが理解できた。一方で、若年性認知症の方は、周りからの理解が得られなかったり、場合によっては経済的なことに関わってきたり、高齢者の認知症とは異なる困り事を持っていると思う。体も元気で動くとする、できることに挑戦していききたいという気持ちを持っておられる。若年性認知症の方々に向けて、困りごとを相談できる窓口があったらいいと思う。支援が受けられないという方にも手が届くような、みんなが気づけるような相談窓口の周知の検討もされていると思う。また、若年性認知症の発症率から考えて、松本市の中にはどれくらいの方々がいらっしゃるのか、推定みたいなものを把握しているのかお聞きしたい。

事務局

発症率から人数は明確には言えないが、市からどこに周知していけば知っていただけるか等を検討した中で、まずは病院へ周知した。新型コロナウイルス感染症対策を考え、病院のソーシャルワーカーに電話をしてからチラシを送らせていただいたり、医療コーディネーターをお願いして、市内の病院、薬局、歯科医院にもチラシを配らせていただいている。また、障害のサービスを受けていらっしゃる方も中にはいらっしゃるかと聞いている。障害者相談支援センターの連絡会などでも周知していただけるように、チラシをお渡ししてお願いしている。

委員

資料1 令和2年度認知症思いやりサポートチーム進捗状況について、4(2) 地域包括支援センターとの役割分担について記載されている。最初のところで役割が重なる部分もあるかと思う。地域包括支援センターも地区により違いもある。思いやりサポートチームと包括支援センターの両方が上手く関わっていくのがよいと思う。

委員

最近あった事例を紹介させていただく。80代の方、見かけは大変しっかりされておられるのですが、2週間内服していないことがあった。内服管理が大切な方であり、心配になり薬局より家族へ連絡したところ、家族より、本人の対応に困っていたが、誰に相談していいのかわからなかったと打ち明けられた。家庭の中で、ご本人はそう思っていない為、奥様は外に発信できない、奥様は必要だと思っても、ご本人が拒否している。こういうことは、認知症の初期においては珍しいことではなく、そのあたりをどうやって薬局も含

めて支援していくのかということと、包括支援センターとも情報共有しながら、受診や服薬支援、家族支援につなげていく必要があると感じた事例だったため、事例提供させていただいた。

委員

コロナ禍でやりにくい中、今年度の事業を実施されていたと思う。来年度の計画についても、感染対策をしながらやっていくような計画になっており、大変だとは思いますが、地道に進めていただけたら良いと思う。認知症があって困っておられる方への関りとして、コロナ禍で独居でご家族とも会えないという方もいらっしゃるが、ご家族が多く電話をしてくれたり、テレビ電話を入れてくれたりと工夫をしてくださる方もおられる。そうではない方達については、私たちの関りを多くして支援をしていきたいと思っている。また、先程話があった家族会のお話ですが、包括と相談しながら私どもも参加出来たらいいと思っている。よろしくお願いします。

議長

他に意見がないことを確認し、協議事項について協議会として了承し、事を終了した。

(4 その他)

課長

課長はその他の説明を求めた。

課長

閉会を宣言し、午後2時30分散会した。